

第650回: 興味尽きせぬ 100 周年

中国共産党の創建 100 年祝賀大会が、記念日の 7 月 1 日に北京で挙行政され、習近平総書記(国家主席)が演説し、中国の近現代史を総括すると共に、対中包圍網形成を進める西側勢力に断固譲らぬ強硬姿勢を前面に打ち出した。

まあ、そんなところから書き始めることにしますが、こんな国家的行事において、チャイナウォッチャーが最も興味を示すのが出席名簿だ。歴史的事件において、腹が痛いとか、子供の入学式とか、そんなのは一切関係ない。這ってでも出席するのが共産党ルールだ。

実は記念日の大イベントに先立つ 6 月 28 日の夜、歴史劇の公演が北京で行われ、現役幹部だけでなく数多くの引退幹部たちが参加したが、江沢民・元主席、朱鎔基・元首相、胡錦濤・前主席、温家宝・前首相の超大物は姿を見せなかった。海外メディアの多くが、内容に不満があり、欠席したとの見方のようだ。

その可能性は大いにあるだろう。なにしろ、イベントに登場する中国共産党史は、4 部構成でまとめられており、①1921 年、共産党設立、新民主主義の偉大な勝利、②49 年、中華人民共和国設立、社会主義革命を遂行、③78 年、改革開放政策に基づく中国の特色ある社会主義政策を推進、④2012 年、習近平政権成立、小康社会の全面的建設。こんな流れとなっている。

つまり、①②の時代の主役は毛沢東。次に③の時代の主役は鄧小平、江沢民、胡錦濤の改革開放トリオ、そして④の主役は習主席ひとりだ。①②を独占の毛沢東と、④の習近平は満足だろうが、3 人まとめて十把一絡げ扱いされた江沢民や胡錦濤たちが喜ぶわけがない。

そんなわけで、本番当日(=7 月 1 日)の出席者を見ると、江沢民・朱鎔基の“前々執行部のツートップ”は欠席だったが、(意外にも)胡錦濤・温家宝の“前執行部”コンビはちゃんと出席していた。前座は欠席したが、本番まで欠席すると、後のイヤガラセが怖いので、しぶしぶ出席したということだろう。

江沢民は 94 歳、朱鎔基は 92 歳だから、“健康上の事由”で欠席したのだろうが、元全人代副委員長の王漢斌(95)や彭珮雲(91)のように矍鑠として出席した老幹部も多い。因みに王・彭夫妻は文化大革命の初期に世を騒がせた有名な事件の当事者でもある。

天安門事件で失脚しなければ、(江沢民のかわりに)中国トップが確実視されていた胡啓立(91)元政治局常務委員も元気な姿を見せていた。

最も注目を集めた老幹部といえば、鄧小平時代に党内人事の責任者を長くつとめた宋平・元政治局常務委員の登場だった。眼が弱いのか、サングラスをかけていたが、しっかりと天安門樓閣に立つ姿は圧巻であった。なにしろ 104 歳だから。

OB の出欠で目立ったのは上記のとおりだが、実は現役の政治局委員(25 名)の中で、ただ一人欠席した人物がいた。広東省トップ、つまり広東省党委書記の李希だ。彼は習近平主席の側近の一人で、次期首相候補者として胡春華(副首相)、李強(上海党委書記)、陳敏爾(重慶党委書記)と共によく名前の挙がる人物である。李希が首相になれるかどうかは不詳だが、“数十年後”に習近平主席が引退した後、李希・胡春華・李強・陳敏爾の 4 候補の中から、中国の次期後継者が誕生する確率は 8 割くらいあるだろう。

そんな李希がなぜ上京しなかった(or できなかった)のか? どうやら地元の問題がありそうだ。最近中国

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

最大の輸出基地・広東省が COVID-19 騒動で揺れており、世界の工場・東莞市でコロナ検疫の厳戒態勢が敷かれたり、中国最大のコンテナ港の1つ深圳 YICT(塩田国際コンテナターミナル)で5月以降に厳しい消毒検疫措置が実施されたりするなど、港湾・工業地帯が大混乱に陥っている。

地元メディアは同氏と省 No2 の省長が深圳市などを慰問や督励に廻っているとして、同氏の健在ぶりをアピールしているが、そんな情報に接すると、ますます広東省コロナ蔓延説が信憑性を帯びてくる。何れにしても陳希の政治上の地位は安泰のようだが、健康問題までは不詳だ。

習近平主席は 100 周年式典で弁舌をふるい、「歴史と人民が中国共産党を選んだ」と一党独裁を正当化し、「中華民族の偉大な復興の実現は不可逆的な歴史プロセスに入った」と訴えた。

ここまでは良かったのだが、専制統治、強権支配に対する欧米からの批判に、猛反論する異例の演説となった。スピーチ原稿は習主席が自らチェックしたようだが、米国などからの理不尽な要求や批判をに対し、これまで耐え難きを耐え、忍び難きを忍んできた鬱憤が爆発したのか、それとも、“お里が知れてしまった”のか、どこかの半島方面ではあるまいに、いやはや・これは中国近代史に残る“歴史的文献”です。

中国人民也絶不允許任何外来勢力欺負、压迫、奴役我們、誰妄想這樣干、必将在 14 億多中国人民用**血肉筑成的鋼鐵長城面前碰得頭破血流！**

(直訳) 中国人民はいかなる外来勢力の侮り、压迫、隷属も許さない。そんなことを妄想する者は誰であれ 14 億超の人民が血肉で築き上げた鋼鐵の長城の前で頭をカチ割られて血を流す。

次のくだりもなかなか面白かった。“教師面”を中国語では“教師爺”と呼ぶのを始めて知った次第。中国の現代史で、教師はしばしば酷いイジメに遭う理由がなんとなく分かった気がする。

我們積極學習借鏡人類文明的一切有益成果、歡迎一切有益的建議和善意的批評、但我們**絕不接受“教師爺”般頤指氣使的說教！**

(直訳) われわれは人類のあらゆる有益な成果を積極的に参考にし、全ての有益な提案と善意ある批判を歓迎するが、偉そうな教師面した態度の説教は決して受け入れない。

習近平主席は演説の中で、自らが中国トップとなった 12 年の第 18 回党大会以降、中国は「新時代に入った」として、他の指導者との差別化を強調した。同氏は歴代指導者として毛沢東、鄧小平、江沢民、胡錦濤の 4 氏を挙げ、その後で、もう少し長い革命史の偉人として毛沢東、周恩来、劉少奇、朱徳、鄧小平、陳雲の 7 氏を列挙したが、列挙しただけで各人の功績には触れていない。

でも共産党として指導者の一族にも一応の配慮を見せたようで、鄧小平の長男・鄧樸方(元政協副主席)、陳雲の長男・陳元(元国家開発銀行総裁)は出席者一覧の公式記録に載っていた。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2021 年(令和 3 年)7 月 2 日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007 年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。